

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）

小田原市新総合計画における災害に強いまちづくりの推進 事後評価

おだわらし
小田原市

平成28年 3月22日

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 事後評価書

平成28年 3月22日

計画の名称	小田原市新総合計画における災害に強いまちづくりの推進																					
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度（5年間）			交付対象	小田原市																	
計画の目標	都市化が進展し、河川はらん域における人口・資産の集積化が進む本市において、近年、集中豪雨による浸水被害が頻繁に発生するため、整備の遅れている河川の改修率を高め、治水対策や安全対策、また、生活環境の改善・保全を目的とした河川・水路整備や維持管理を実施し、安心・安全なまちづくりを目指す。																					
計画の成果目標（定量的指標）	小田原市新総合計画実施計画に基づき、台風や近年の異常気象と見られる局地的な集中豪雨による浸水被害の軽減を目的とした河川改修を実施する。																					
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>中間目標値 (H24末)</th> <th>最終目標値 (H26末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過去に床上浸水を受けた家屋のうち、被災時と同程度の出水で、依然として床上浸水被害を受ける可能性のある家屋数。</td> <td>15戸</td> <td>-</td> <td>0戸</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	過去に床上浸水を受けた家屋のうち、被災時と同程度の出水で、依然として床上浸水被害を受ける可能性のある家屋数。	15戸	-	0戸	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																		
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)																			
過去に床上浸水を受けた家屋のうち、被災時と同程度の出水で、依然として床上浸水被害を受ける可能性のある家屋数。	15戸	-	0戸																			
全体事業費	合計 (A+B+C)	302百万円	A	291百万円	B	0百万円	C	11百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	3.6%												

事後評価

事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価の実施時期
	平成27年度
小田原市社会資本総合整備計画に関する評価実施要領に基づく評価	公表の方法
	市ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
小計(下水道事業)																	
A2 河川事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A2-1	河川	一般	小田原市	直接	-	準用河川	-	相模川圏域総合流域防災事業(下菊川)	L=245m、護岸、掘削	小田原市						291	
小計(河川事業)												291					
合計												291					
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
1-C1-1	河川	一般	小田原市	直接	-		洪水ハザードマップ作成	ハザードマップ作成	小田原市							11	
										合計					11		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
1-C1-1	ハザードマップを作成することにより周辺住民へ注意を促すとともに事業への理解を深めてもらえる。																

交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・河川改修を計画延長2 4 5 mの内、8 8 m完成したことにより、治水安全度は向上している。
------------------------------	--

定量的指標の達成状況	指標（床上浸水被害を受ける可能性のある家屋数）	最終目標値	0戸	目標値と実績値に差が出た要因	・占用者との調整に時間を要したとともに、事業費の確保ができず、計画どおり事業を実施できなかったため。 当初予定事業費 2 9 1 百万円 実績事業費 1 4 0 百万円
		最終実績値	15戸		
	指標	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
	指標	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			

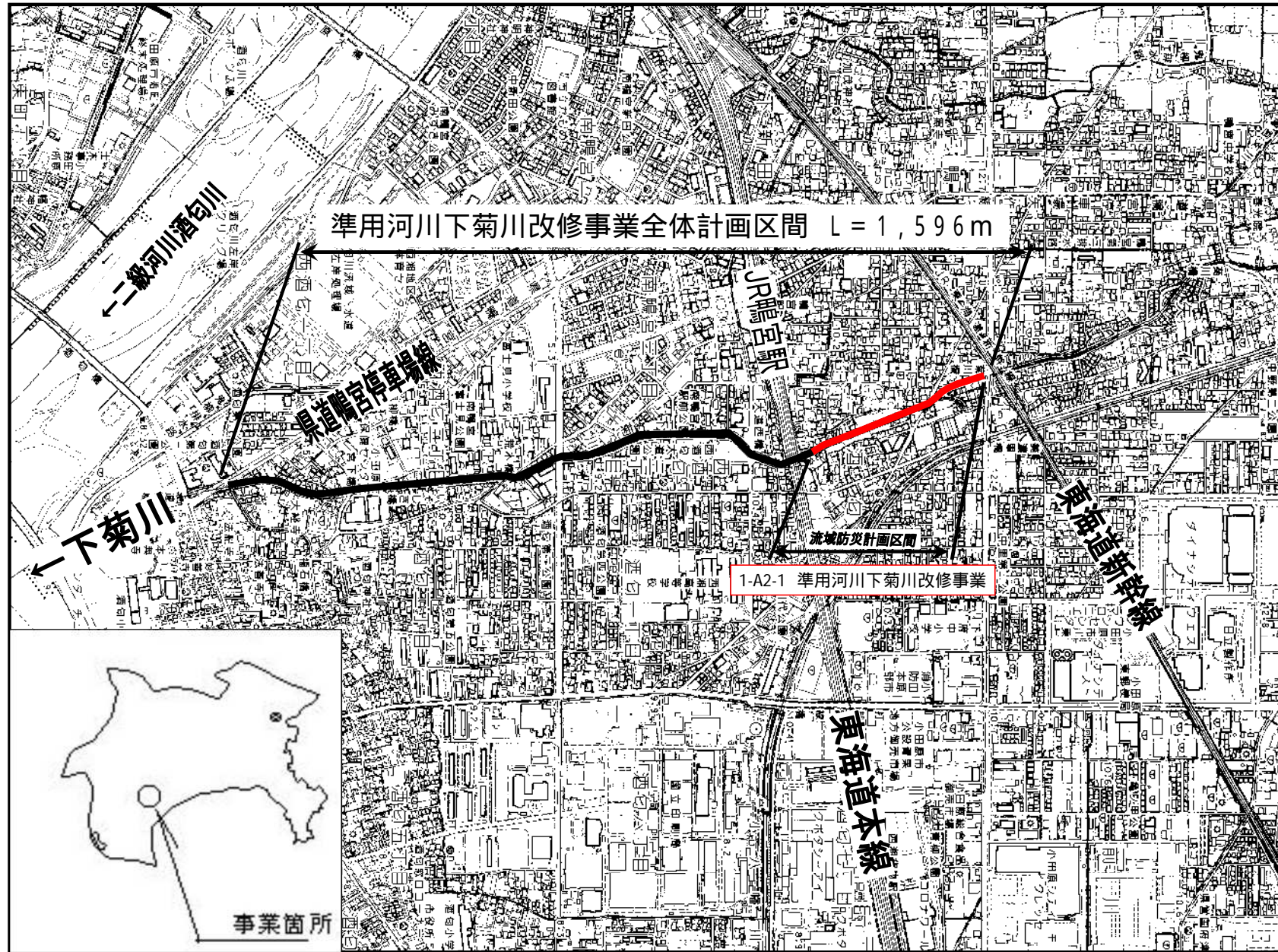
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	・ハザードマップを作成し関係地域に配布したことにより、周辺住民への注意を促すとともに、事業への理解が図られた。
--------------------------------------	---

3. 特記事項(今後の方針等)

小田原市新総合計画における災害に強いまちづくりの推進については、平成27年度以降も引き続き河川改修を行い、治水安全度の向上を図る。

水の安全・安心基盤整備

計画の名称	小田原市新総合計画における災害に強いまちづくりの推進		交付対象	小田原市
計画の期間	平成22年度 - 平成26年度 (5年間)			



事業箇所